

「国分寺市地域産業活性化プラン」第Ⅰ期 見直し

(令和3年3月)

《方向性1 「国分寺らしさ」の協創》

※修正部分は下線

方向性1	本文	34 ページ
現 行		
本文・4段落目		
<p>そのほか、事業展望としては、現在の「国分寺ブランド」の充実を図るとともに、昭和30年に日本で初めてペンシルロケット水平発射実験が行われたことに由来する「宇宙開発発祥の地」というシティプロモーション[※]等、「国分寺らしさ」の下で進められる本プランの施策・事業を一体的に市内外へとPRし、産業活性化につなげることも検討します。</p>		
見直し後		
本文・4段落目		
<p>そのほか、事業展望としては、現在の「国分寺ブランド」や、昭和30年に日本で初めてペンシルロケット水平発射実験が行われたことに由来する「宇宙開発発祥の地」というシティプロモーション[※]等、「国分寺らしさ」の下で進められる本プランの施策・事業を一体的に市内外へとPRし、産業活性化につなげることも検討します。</p>		

方向性1	重点事業	34 ページ
現 行		
第Ⅰ期における重点事業 「(仮称)国分寺の輝く個店大賞」プロジェクト		
<p>「(仮称)国分寺の輝く個店大賞」プロジェクトは、商工会や市等が主体となり、市内の商店から「国分寺らしさ」を有する事業者を見出し、表彰する事業です。「国分寺ブランド」のように、商工会や市が認定・表彰することで、「国分寺らしさ」を裏打ちされたものとして発信することができ、また共有しやすい魅力となることが期待されます。</p>		
見直し後		
第Ⅱ期における重点事業 「国分寺お店大賞」プロジェクト		
<p>「国分寺お店大賞」は、国分寺らしさや魅力ある商品・サービスを提供する個店を部門別にて審査し表彰する事業です。リーフレットや市報、ホームページ等により発信することで、商店街に足を運ぶきっかけをつくり、にぎわいを創出します。また、市内のみならず市外にも積極的に情報を発信することで更なる認知度向上を図ります。</p>		

方向性1	今後の事業展望	35 ページ
現 行		
<p>今後の事業展望</p> <p>①国分寺の魅力・資源に関する情報の収集 ◇</p> <p>市内商業者や農業者はもとより、自然や歴史資源、さらにはサブカルチャー[※]や国分寺にゆかりのある文化人の足跡等、これまで十分に捉えられていなかった国分寺の魅力・資源を掘り下げて収集します。</p> <p>②地域産業の魅力のPRの促進 ◇</p> <p>収集された国分寺の魅力・資源を広くPRし、市民による地元への関心を高めるとともに、市外からの誘客を促すことを目指します。PRの際にはICTやデザイン・クリエイティブの活用や歴史資源との連携を図るとともに<u>デザインにも配慮する等</u>の工夫を検討します。</p>		
見直し後		
<p>今後の事業展望</p> <p>①国分寺の魅力・資源に関する情報の収集 ◇</p> <p>市内商業者や農業者はもとより、自然や歴史資源、さらにはサブカルチャー[※]や国分寺にゆかりのある文化人の足跡等、これまで十分に捉えられていなかった国分寺の魅力・資源を掘り下げて収集します。</p> <p>②地域産業の魅力のPRの促進 ◇</p> <p>収集された国分寺の魅力・資源を広くPRし、市民による地元への関心を高めるとともに、市外からの誘客を促すことを目指します。PRの際にはICTやデザイン・クリエイティブの活用や歴史資源との連携を図るとともに<u>観光大使を活用する等</u>の工夫を検討します。</p> <p>③飲食店等における地産地消の推進 ◇</p> <p><u>農業・商工業・観光などが相互に連携し実施している、地場産農畜産物こくベジを活用したイベントやマルシェ等を開催することで、こくベジメニュー提供店をPRすることにより地産地消の推進を図ります。</u></p>		

方向性1	継続実施事業	35 ページ
現 行		
継続実施事業		
事業	概要	
国分寺ブランド 品 ◇	市内で生産・製品化され、 <u>国分寺市の独自性や地域特性を有する「国分寺ブランド」のPRを促進するとともに、商業者等と連携を図り、新たな商品開発の取組を支援します。</u>	
見直し後		
継続実施事業		
事業	概要	
国分寺ブランド 品 ◇	商業者等と連携を図り、 <u>市内で生産・製品化され、国分寺市の独自性や地域特性を有する「国分寺ブランド」のPRに努めます。</u>	

《方向性2 地元を楽しむ買い物の促進》

※修正部分は下線

方向性2	重点事業	35 ページ
現 行		
<p>第Ⅰ期における重点事業 <u>バイ・ローカルの意識の醸成</u></p> <p><u>バイ・ローカルの意識を持ち、実際に市内で買い物をする市民を増やすために、イベントやPRを通じて意識の醸成を図っていきます。そこで、市内で現在実施されているイベントをバイ・ローカルの意識を高める機会と位置付け、一体的にPRする等の取組を、既存事業の支援という点で進めべきだと考えます。また、子どもの頃から地元商店会や個店に触れる機会を重視し、職業体験等を通じて意識の醸成を図ります。</u></p>		
見直し後		
<p>第Ⅱ期における重点事業 <u>地元愛による買い物促進</u></p> <p><u>市内で実施されているイベントを通じ、地元を楽しみ地元で買い物をする市民を増加させることで、バイ・ローカルの意識を育て上げます。特に商工会やJA、観光協会と連携を図り、「ぶんじふれあい市」やマルシェ等を、国分寺駅北口交通広場等を有効活用し定期的に開催することで、市民が地元へ愛着を感じ将来に渡って地元で買い物をする意識の醸成を図ります。</u></p>		

方向性2	今後の事業展望	37 ページ
現 行		
<p>今後の事業展望</p> <p>①国分寺市ならではの商品・産品に触れる機会の充実 ◇</p> <p><u>市内農畜産物や国分寺ブランド、一店逸品事業で紹介された商品等を販売するイベントを、公園等のオープンスペースや空き店舗・空き家等の既存ストックを活用して開催することで、市民が国分寺市ならではの商品・産品に触れる機会を充実させます。</u></p> <p>②小・中学生の商業体験機会の提供 ◇</p> <p><u>小・中学生が個人商店や商店街を知るきっかけとして、商店における仕事を体験する機会を提供することを検討します。子どもの頃に個人商店・商店街に親近感を覚えることを通じて、大人になっても個人商店・商店街を利用しようと思うような愛着を育むことを目指します。</u></p> <p>③市内在勤者・在学者及び鉄道利用客に向けた市内商店のPR ◇</p> <p><u>国分寺市の在勤者・在学者に市内での消費を促すためのPR方法について、事業所との連携や学園祭等の機会の活用を含めて検討します。さらに、JRと西武鉄道が東西南北に走り、2つのターミナル駅がある立地を活かし、鉄道利用客に対してもPRを行い、特に、通勤・通学の帰宅途中に下車を促す仕掛け等を検討します。</u></p>		

④地元を楽しめる買い物支援の検討 ◇

現在、市内農畜産物を公園で購入できる取組を進めていますが、この取組を継続しつつ、遠くに外出することが難しい高齢者や障害者、妊娠・育児中の方でも、気軽に地元を感じる産品を購入できる買い物支援の在り方を検討します。

見直し後

今後の事業展望

①国分寺市ならではの商品・産品に触れる機会の充実 ◇

こくベジや国分寺ブランド、一店逸品事業で紹介された商品等を販売するイベントを、公園等のオープンスペースや空き店舗・空き家等の既存ストックを活用して開催することで、市民が国分寺市ならではの商品・産品に触れる機会を充実させます。

②小・中学生の商業体験機会の提供 ◇

小・中学生が個人商店や商店街を知るきっかけとして、商店における仕事を体験する機会を商店会への支援を通じて提供します。子どもの頃に個人商店・商店街に親近感を覚えることを通じて、大人になっても個人商店・商店街を利用しようと思うような愛着を育むことを目指します。

③市内在勤者・在学者及び鉄道利用客に向けた市内商店のPR ◇

国分寺市の在勤者・在学者に市内での消費を促すためのPR方法について、事業所との連携や学園祭等の機会の活用を含めて検討します。さらに、JRと西武鉄道が東西南北に走り、2つのターミナル駅がある立地を活かし、鉄道利用客に対してもPRを行い、特に、通勤・通学の帰宅途中に下車を促す仕掛け等を検討します。

④出張販売や宅配サービスによる買い物支援の検討 ◇

現在、JAによる公園等での出張販売や商工会による宅配サービス「ぶんじDELi」が実施されていますが、今後は、利用者のニーズを聞き取るなど、更なる利用者の利便性向上に向けた買い物支援を検討します。

現 行

継続実施事業

事業	概要
<u>元気を出せ！ 商店街事業</u> ◇	商店会等が実施する季節のイベントや地産地消イベント、施設の改修や空き店舗を活用した事業等を支援することにより、地域の交流拠点としての賑わいと活力ある商店街づくりを推進します。
<u>こくぶんじ朝市 の充実</u> ◇	市内で採れた新鮮な野菜や花・植木、国分寺ブランド認定品、特産品等を販売する <u>こくぶんじ朝市</u> を、商工会やJA、観光協会等と連携を図り、内容の充実に取り組んでいきます。

見直し後

継続実施事業

事業	概要
<u>商店街チャレンジ戦略支援事業</u> ◇	商店会等が実施する季節のイベントや地産地消イベント、施設の改修や空き店舗を活用した事業等を支援することにより、地域の交流拠点としての賑わいと活力ある商店街づくりを推進します。
<u>地域連携型商店街事業</u> ◇	商店会が地域団体等と連携して実施するイベントへ支援することにより、来街者の増加や商店街の活性化を推進します。
<u>ぶんじふれあい市の充実</u> ◇	市内で採れた新鮮な野菜や花・植木、国分寺ブランド認定品、特産品等を販売する <u>ぶんじふれあい市</u> を、商工会やJA、観光協会等と連携を図り、内容の充実に取り組んでいきます。

《方向性3 まちづくりと連動した買い物環境の向上》

※修正部分は下線

方向性3	重点事業	38 ページ
現 行		
<p>第Ⅰ期における重点事業 <u>ぶらぶら歩きができる環境整備</u></p> <p>商業振興プランにて国分寺商業が活かす要素として取り上げたぶらぶら歩きを楽しむことのできる環境を改めて形成することを目指し、市内各駅周辺や商店街を中心として歩行環境の向上を目指します。具体的には装飾街路灯のLED化を推進する支援に取り組むとともに、まちづくりと連動した取組についても検討します。</p>		
見直し後		
<p>第Ⅱ期における重点事業 <u>LEDの更新支援による環境整備</u></p> <p>市内各駅周辺や商店街を中心とした歩行環境を整備することで、ぶらぶら歩きを楽しめるまちを目指します。具体的には装飾街路灯のLED化がほぼ完了したため、今後発生してくるLEDの更新に対する支援に取り組むとともに、まちづくりと連動した取組についても検討します。</p>		

方向性3	今後の事業展望	39 ページ
現 行		
<p>今後の事業展望</p> <p>①ロードサイドの地産地消拠点の検討 ◆</p> <p>都市計画道路の整備に合わせ、ロードサイドに市内農畜産物や国分寺ブランド品等の販売、市内の自然・歴史資源の案内を行うような拠点施設を整備することを検討し、市民はもとより、市外からの誘客も図り、地産地消やローカルツーリズムを盛り上げることを目指します。</p> <p>②既存ストックを活用した買い物環境の整備に向けた検討 ◆</p> <p>空き店舗等の商業活用の可能性やその支援の在り方について検討し、駅前に過度に集積することのない、面的な買い物環境の展開を図ります。</p> <p>③公共的空間を活用した事業を行う団体への支援制度の検討 ◆</p> <p>公共的空間を活用して誘客につながる試みを行おうとする団体と連携し、制度設計の研究や情報提供等の支援を行うことで、公共的空間を活用した買い物環境の創出を後押しします。</p>		
見直し後		
<p>今後の事業展望</p> <p>①ロードサイドの地産地消拠点の検討 ◆</p> <p>都市計画道路の整備に合わせ、ロードサイドに市内農畜産物や国分寺ブランド品等の販売、市</p>		

内の自然・歴史資源の案内を行うような拠点施設を整備することを検討し、市民はもとより、市外からの誘客も図り、地産地消やローカルツーリズムを盛り上げることを目指します。

②既存ストックを活用した買い物環境の整備に向けた検討 ◆

空き店舗等の商業活用の可能性やその支援の在り方について検討し、駅前に過度に集積することのない、面的な買い物環境の展開を図ります。

③公共的空間を活用した事業を行う団体への支援制度の検討 ◆

公共的空間を活用して誘客につながる試みを行おうとする団体と連携し、制度設計の研究や情報提供等の支援を行うことで、公共的空間を活用した買い物環境の創出を後押しします。

④買物困難者等に対する買い物環境の充実 ◆

買い物に不便を感じている高齢者や子育て世帯が存在する地域に対し、公共施設等を活用した移動販売等の買い物環境を関係機関と連携して構築します。また、本事業と地域の団体等につながりを持たせ、国分寺市ならではの持続可能な買い物支援を検討します。

《方向性4 資源を活かした回遊性・滞在性の向上》

※修正部分は下線

方向性4	重点事業	40 ページ
現 行		
<p>第Ⅰ期における重点事業 <u>史跡を活かした回遊性・滞在性の向上</u></p> <p>武蔵国分寺跡や東山道武蔵路跡等の史跡，真姿の池湧水群等の自然が集積する都立武蔵国分寺公園周辺に焦点を当て，回遊性・滞在性を高めるための取組を進めます。具体的には，<u>国分寺駅と西国分寺駅の間を結ぶ，史跡・自然を巡るストーリー性のある観光ルートの開発や，そのルート上での商業・サービスとの関連付けを進めます。また，スマートフォン・アプリを活かした回遊の促進についても企画・検討を行います。</u></p>		
見直し後		
<p>第Ⅱ期における重点事業 <u>ICTを活用した社会実験の実施</u></p> <p>近年，キャッシュレス決済の多様化が急速に進み，購買体系が大きく変化している中，<u>地域通貨を利用した取組が各市で実施され，地域の活性化が図られています。当市においても，スマートフォン・アプリを活かし，回遊性・滞在性の向上を図る当市ならではのポイント付与事業を，関係機関や民間事業者と連携し企画・検討を行います。</u></p>		

方向性4	今後の事業展望	41 ページ
現 行		
<p>今後の事業展望</p> <p>①ICTを活用した回遊促進 ◇</p> <p>歴史・自然・農という国分寺市の資源を関連付けてPRし，さらに市民や来街者が実際に回遊することを促すため，マップとウェブサイトの連動やスマートフォン・アプリの開発等，ICTの積極的な活用を検討します。</p> <p>②回遊性・滞在性を促すポイントサービスの検討 ◆</p> <p>ICTを活用した回遊促進と連動し，スマートフォンや交通系ICカード[※]等，既存のカードシステムとの連動等を通じて利便性の高いポイントサービスの在り方を検討し，回遊はもとより，その際の消費や滞在も同時に促進することを目指します。</p> <p>③広域連携による来街促進，及び面的な観光振興 ◇</p> <p>JR中央線や武蔵野線はもとより，西武沿線に目を向けた面的な来街の促進・観光の振興について検討し，市外からの誘客・来街者の増加を目指します。</p>		
見直し後		

今後の事業展望

①ICTを活用した回遊促進 ◇

歴史・自然・農という国分寺市の資源を関連付けてPRし、さらに市民や来街者が実際に回遊することを促すため、マップとウェブサイトの連動やスマートフォン・アプリの開発等、ICTの積極的な活用を検討します。

②回遊性・滞在性を促すポイントサービスの検討 ◆

ICTを活用した回遊促進と連動し、スマートフォンや交通系ICカード[※]等、キャッシュレスシステムとの連動等を通じて利便性の高いポイントサービスの在り方を検討し、回遊はもとより、その際の消費や滞在も同時に促進することを目指します。

③広域連携による来街促進, 及び面的な観光振興 ◇

「国分寺・府中観光振興連絡協議会」では、「モバイルポイントラリー」等様々なイベントや広報活動に取り組んできましたが、今後さらに両市の交流人口や市外からの来街者が増えるよう連携を強めていきます。

《方向性5 起業・創業がしやすい環境の形成》

※修正部分は下線

方向性5	重点事業	42 ページ
現 行		
<p>第Ⅰ期における重点事業 <u>個別相談会や「こくぶんじ創業塾」の充実</u></p> <p>平成28年度、創業支援事業計画の下、定期的な個別相談会の実施のほか、「こくぶんじ創業塾」の開催に着手しました。起業・創業に関心のある人や、起業間もない人に対して広く事業を周知し、より多くの参加者がより充実した相談・講座を受けることができるようにします。それとともに、相談会や講座参加者からニーズを聞きとり、起業・創業の促進・支援のための新たな事業についても検討・実施していきます。</p>		
見直し後		
<p>第Ⅱ期における重点事業 <u>個別相談会や創業セミナー等の充実</u></p> <p>これまで、産業競争力強化法に基づく創業支援等事業計画の下、定期的な個別相談会やセミナー、創業塾を実施してきました。事業の周知活動に力を入れたことにより、多数の創業希望者が参加し、市内での創業につながりました。今後も市内での創業者が増えるような新たなセミナーなどを関係機関と連携して実施するとともに、商工会や商店会への加入促進にもつながるような効果的な手法も検討していきます。</p>		

方向性5	今後の事業展望	43 ページ
現 行		
<p>今後の事業展望</p> <p>①市内産業・産業資源の実態調査の実施 ◇</p> <p>事業のきっかけがあり、起業・創業しやすい環境であることをPRするため、市内産業の状況や産業資源を調査し、実態を把握することを目指します。特に、市内企業の特許については、大学とも連携し、利活用の可能性について調査することを検討します。</p> <p>②雇用機会となる事業所・支店の誘致促進に向けた検討 ◆</p> <p>企業誘致は、職住近接の実現や、市外在勤者を呼び寄せます。国分寺市の住環境や自然環境という魅力の維持を考慮しつつ、事業所や支店を市内に誘致する手法について検討します。</p> <p>③空き店舗・空き家を活用した起業・創業促進のための支援制度の検討 ◆</p> <p>今後増加が予想される空き店舗・空き家を、起業・創業者がオフィスとして利用できるような支援制度を検討し、起業・創業を促すことを目指します。その際、商店会への加盟や地域での事業への協力を条件にする等、市内に定着するための制度を重視します。</p>		

見直し後

今後の事業展望

①市内産業・産業資源の実態調査の実施 ◇

事業のきっかけがあり、起業・創業しやすい環境であることをPRするため、市内産業の状況や産業資源を調査し、実態を把握することを目指します。特に、市内企業の特許については、大学とも連携し、利活用の可能性について調査することを検討します。

②雇用機会となる事業所・支店の誘致促進に向けた検討 ◆

企業誘致は、職住近接の実現や、市外在勤者を呼び寄せます。国分寺市の住環境や自然環境という魅力の維持を考慮しつつ、事業所や支店を市内に誘致する手法について検討します。

③空き店舗・空き家を活用した起業・創業促進のための支援制度の検討 ◆

今後増加が予想される空き店舗・空き家を、起業・創業者がオフィスとして利用できるような支援制度を検討し、起業・創業を促すことを目指します。その際、商店会への加盟や地域での事業への協力を条件にする等、市内に定着するための制度を重視します。

④創業後のフォローアップ体制の構築 ◇

創業者間での情報共有や交流等ができる創業者コミュニティーを形成することにより、創業後のフォローアップ体制を強化することを目指します。

《方向性6 地域産業の持続性を高める体制構築》

※修正部分は下線

方向性6	重点事業	44 ページ
現 行		
<p>第Ⅰ期における重点事業 <u>商店会の法人化を促す支援制度の設計</u></p> <p>商店会の法人化は、社会的信用が高まり、行政の各種振興施策も利用しやすくなります。そのほか、営利活動や専従のスタッフを置くことも可能になる等、組織的な活動を展開しやすくなるというメリットがあります。市内商店会の法人化を促すためには、法人化することに対するインセンティブを設計する必要があると考え、そのための制度設計を進めます。</p>		
見直し後		
<p>第Ⅱ期における重点事業 <u>事業承継に向けた支援の実施</u></p> <p>経営者の高齢化等に伴う後継者問題を円滑に解消し、市内の優良な技術の継続性や事業の持続性を高め、将来にわたって事業承継が繰り返される取組を進めます。具体的には、関係機関と連携した個別相談会やセミナーを実施することで、事業者が抱えている問題等を把握し、更なる支援策・支援体制を検討します。</p>		
備 考		
<p>・第Ⅰ期の重点事業「商店会の法人化を促す支援制度の設計」を今後の事業展望に移行し、「事業承継に向けた支援の実施」を重点事業に記載。</p>		

方向性6	今後の事業展望	45 ページ
現 行		
<p>今後の事業展望</p> <p>①事業承継に向けた支援 ◆</p> <p>事業所向けのアンケート結果から、<u>高齢経営者が多く、さらに後継者がいない事業所が多い状況を踏まえ、金融機関と連携を図りながら、事業承継が十全になされるような支援を検討し、取り組んでいきます。</u></p> <p>②リサーチやビジネス体験等、大学との連携促進 ◇</p> <p>国分寺市にキャンパスを置く東京経済大学をはじめとする大学や専門学校等と連携し、商店会でのイベントへの出店や空き店舗を活用したショップの開設等、学生にとってはビジネスの実体験となり、地域にとっては賑わい創出となる取組を進めます。また、大学・専門学校等との連携では、市内産業や今後の事業展開に関する調査を行うことも検討します。</p>		

③観光協会の自主的な運営を促す一層の支援 ◆

「国分寺らしさ」の市外に向けた発信や史跡を活かした回遊性・滞在性の向上等の本プランでの取組において観光協会は大きな役割が期待されることから、観光協会がより安定的かつ持続的な運営ができるよう、必要な支援を行います。その結果、観光協会が市の人的・物的・金銭的支援に依存しない組織運営、例えば法人格の取得等も視野に入れながら、組織的に活動できるための組織・体制について検討します。

見直し後

今後の事業展望

①商店会の法人化を促す支援制度の検討 ◆

商店会の法人化は、社会的信用が高まり、行政の各種振興施策も利用しやすくなります。その他、営利活動や専従のスタッフを置くことも可能となる等、組織的な活動を展開しやすくなるというメリットがあります。そのため、市内商店会の法人化を促すための支援制度を検討します。

②リサーチやビジネス体験等、大学との連携促進 ◇

国分寺市にキャンパスを置く東京経済大学をはじめとする大学や専門学校等と連携し、商店会でのイベントへの出店や空き店舗を活用したショップの開設等、学生にとってはビジネスの実体験となり、地域にとっては賑わい創出となる取組を進めます。また、大学・専門学校等との連携では、市内産業や今後の事業展開に関する調査を行うことも検討します。

③観光協会の自主的な運営を促す一層の支援 ◆

「国分寺らしさ」の市内外に向けた発信や資源を活かした回遊性・滞在性の向上等を方向性として定める本プランにおいて、市の観光振興に大きく寄与する観光協会の役割は非常に重要であり、そのためにも観光協会が安定的かつ持続的に運営していくことが必要です。

観光協会が現在検討している将来ビジョンとともに、法人化も含めた組織の体制・運営の構築等、自走化に向けた取組に対して、必要な支援を行います。

④労働生産性向上を図る設備投資への支援 ◆

生産性向上特別措置法に基づき、市が策定した「導入促進基本計画」が国の同意を受けたことにより、中小企業・小規模事業者等が定めた「先端設備等導入計画」に対し市が認定し、税制措置等の支援をします。

⑤事業継続計画(BCP)等策定への支援 ◆

災害等の緊急事態時における事業継続や早期復旧につなげるため、事業継続計画(BCP)や中小企業強靱化法に基づく事業継続力強化計画の普及啓発及び策定を関係機関と連携し支援します。

備考

- ・第Ⅰ期の重点事業「商店会の法人化を促す支援制度の設計」を今後の事業展望に移行し、「事業承継に向けた支援の実施」を重点事業に記載。
- ・先端設備等導入計画への支援を追加。
- ・災害時の事業継続や早期復旧に向けた事業継続計画(BCP)策定への支援を追加。

